

(3) 農用地及び農業生産施設												
ア 農用地						イ 農業生産施設						
区 分	所在地		地 目	現 状 (a)	目 標(令和 年) (a)	種 別	所在地		規 模			
	都道府県名	市町村名					都道府県名	市町村名	現 状		目 標 (令和 年)	
									棟	m ²	棟	m ²
所有地	長野県	御代田町	田	50	50	育苗用パイプハウス	長野県	御代田町	2	216	3	324
	長野県	御代田町	畑	100	100							
借入地	長野県	御代田町	畑	150	200							
その他												
経 営 面 積 合 計						経 営 面 積 合 計						
③ 生産方式の合理化に関する現状と目標・措置						④ 経営管理の合理化に関する現状と目標・措置						
<p>○作付面積の増加に対応するため、次の対策を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗ハウス2棟(合計216㎡)を3棟(合計324㎡)に増設 ・ブームスプレーヤ1台を2台に増設 <p>○現在、コンテナ出荷の割合が2割程度だが、5割程度に増やして、出荷作業の省力化を図る。</p>						<p>○現在、手作業で青色申告を行っている。</p> <p>○経理ソフトを導入し、PC管理をすることで、経理の作業の効率化と経営分析の向上を図る。</p>						
⑤ 農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置						⑥ その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置						
<p>○現在、休日を明確にしていらないが、休日制を導入し、農閑期は週2日程度、農繁期でも週1日の休日の導入を目指す。</p> <p>○家族経営協定を締結し、家族従事者の役割、業務形態を明確化することで処遇の改善を目指す。</p>						<p>○現在、利用権設定により農地150aを借り受けている。</p> <p>○今後、農地中間管理事業を活用し、新たに50aの農地を借り受け、作付面積を増やす。</p> <p>○機械の導入に当たっては、補助事業及び農業制度資金を活用する。</p>						

(参考) 経営の構成

(1) 構成員・役員										(2) 雇 用 者					
氏 名 (法人経営にあっては役員 の氏名)	年 齢	性 別	代表者との 続柄(法人経 営にあって は役職)	現 状			見 通 し (令和 年)			常時雇 (年間)	実 人 数	現 状	2 人	見 通 し	3 人
				担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	臨時雇 (年間)	実 人 数	現 状	6 人	見 通 し	7 人
御代田 太郎	65	男	(代表者)	農業経営全般	○	2100	農業経営全般	○	2000						
御代田 龍神	35	男	長男	農業経営全般		2100	農業経営全般		2000						
御代田 花子	64	女	妻	経理、作業補助		1500	経理、作業補助		1300						

延べ人数の算出方法: 人数 × 日数

例: 4人 × 175日 = 700人

1人 × 150日 = 150人

1人 × 150日 = 50人

} 合計 900人

